

## 第 36 回(令和 7 年度)手話通訳技能認定試験(手話通訳士試験)

### 「読取り通訳試験」問題 要旨

#### 第 1 問

【場 面】高齢者向け教養講座

【テーマ】残薬の取り扱い

【講 師】ろうの保健師

病院でもらった薬が余ることがありますよね。

薬を飲み忘れる、飲みにくくて飲まなくなる、病気が治ったと思って薬を飲まなくなる、飲んでも良くならないので止めてしまう、医師や薬剤師の指示通りに飲まないなどが原因として挙げられます。

余った薬がある場合、かかりつけの薬局に相談すると良いです。余っている分を減らしてもらい、粉薬など飲みにくい薬をカプセルに変更して欲しいなどの相談ができます。

朝昼晩で薬の種類や数が違う場合、混乱しないように「一包化」のお願いもできます。

薬はきちんと飲まないとなかなか治らなかつたり、治療が長引いたりして、時間もお金もかかってしまいます。余った薬は同じ症状の人にあげないでください。

#### 第 2 問

【場 面】保険会社の担当者との相談

【テーマ】生命保険での資産運用

お越しいただきありがとうございます。

先日メールした「資産運用」についてお聞きしてもよろしいでしょうか。

生命保険を検討中ですが、保険料をドルで支払うのが良いと友人に勧められました。

ドル建てだと、円安ドル高になれば多くもらえますよね。

保険金が 1000 万円支払われると仮定すると、1 ドルが 100 円から 110 円になれば、保険金は 1100 万円となり 100 万円多くもらえるということですよ？「為替差益」と言うんだと思いますが。

円建てだけでは損することになるので、両建てにすると、プラスマイナスゼロということで、資産を大きく減らすことなく運用できますよね？ドルと円の両建ての方が安心かと思うのですが、その辺りご説明いただいてもよろしいでしょうか。